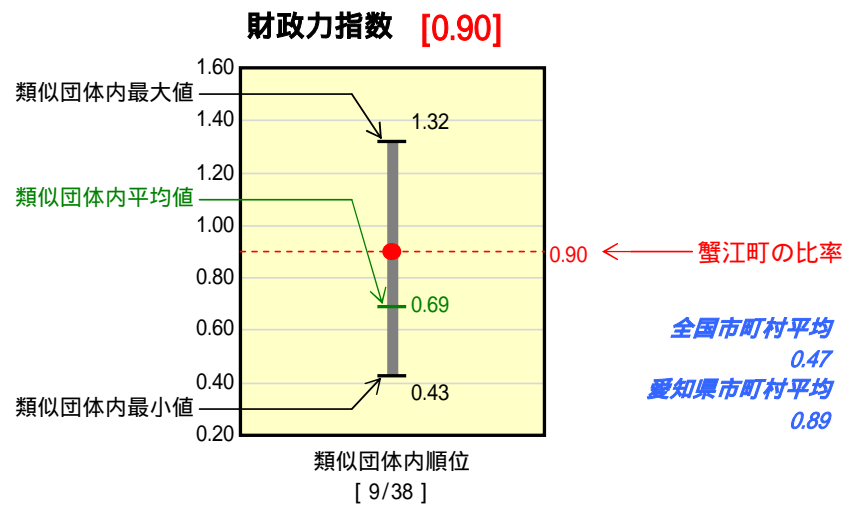


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

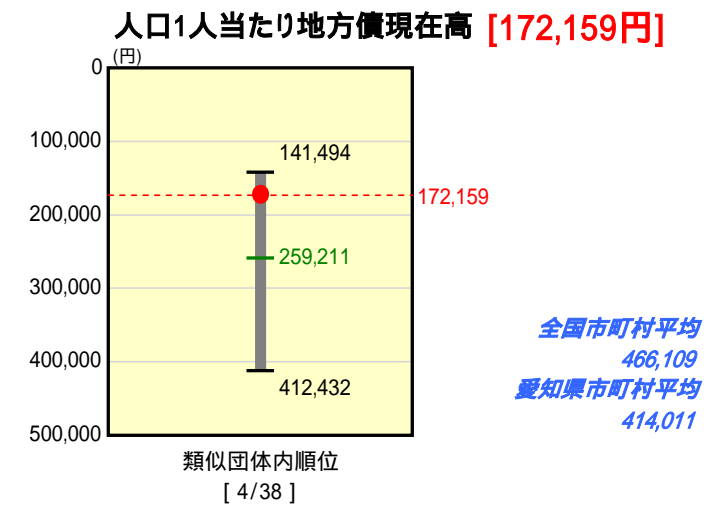
## 愛知県 蟹江町

人口	36,628 人(H17.3.31現在)
面積	11.10 km <sup>2</sup>
歳入総額	9,289,454 千円
歳出総額	8,932,781 千円
実質収支	356,673 千円

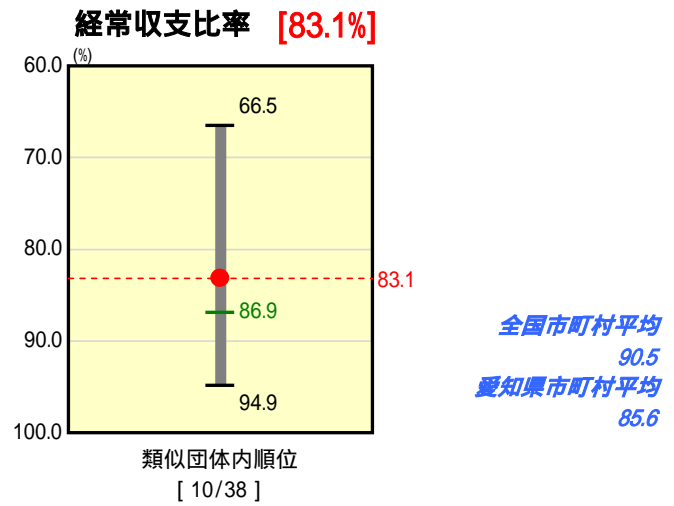
### 財政力



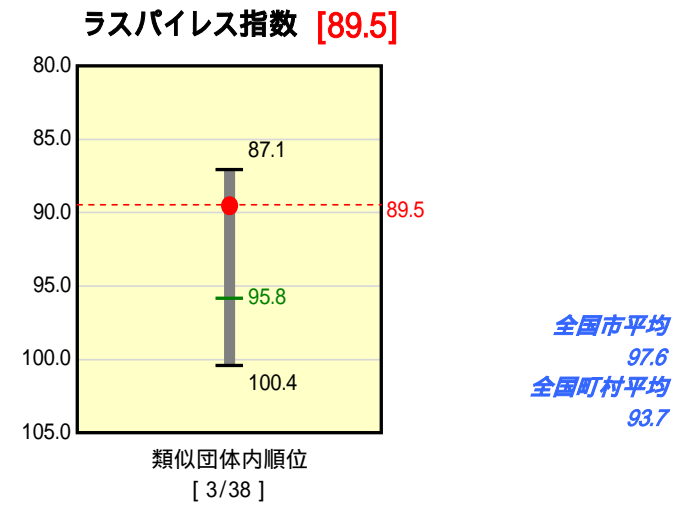
### 将来負担の健全度



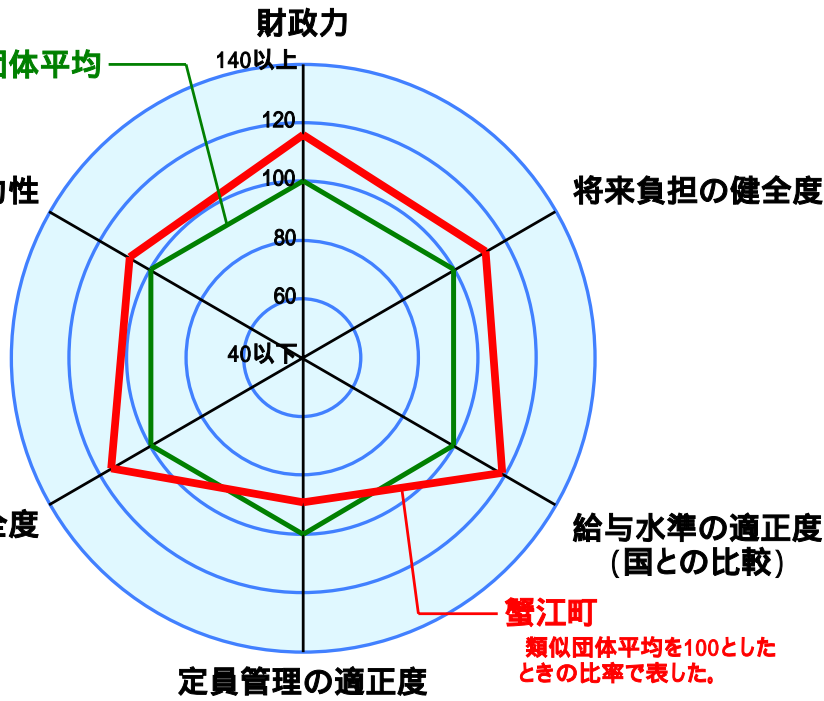
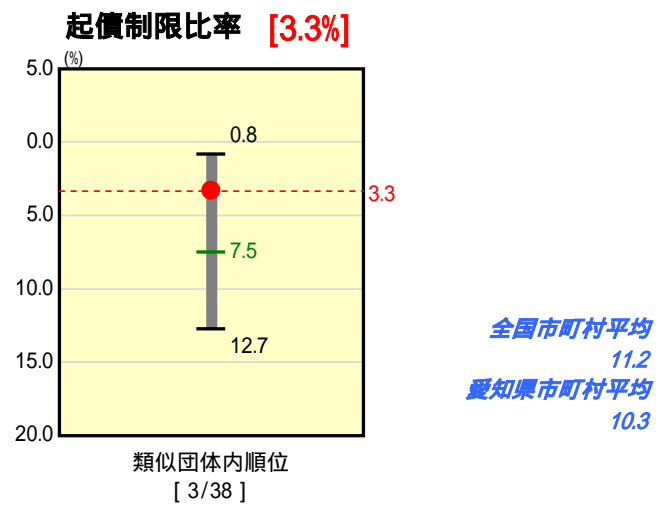
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**  
毎年度0.3ポイント程度上昇し、類似団体内平均数値を上回っている状況であるが、中心となる産業がないため法人税額に影響されやすい傾向である。今後は蟹江町行政改革集中改革プランに沿った、受益者負担の適正化と税収の徴収率の向上対策、定員適正化計画(5年間で約7%の約20人減)等による歳出削減も行い、更に財政の健全化に努める。

**経常収支比率**  
平成12年度から行っている経常的な補助金、負担金等の整理合理化を進めてきたため、各平均値を下回っている。今後も補助金等について引き続きその事業の目的、行政の責任領域や経費負担のあり方、行政効果を総合的に判断し、必要性、有効性、公平性の観点に立ちさらに精査し、5年間で約4.0%減を目指す。

**起債制限比率**  
過去からの起債抑制策により各平均値を大幅に下回っているが、今後は、第3次蟹江町総合計画に基づき実施予定の耐震化事業等により一時的に数ポイント上昇の見込みである。このため、大規模な事業計画の整理、縮小を図ることや、PFI事業の導入検討を行い、起債で行う事業自体の見直し等を行いながら、起債計画を行っていく。

**人口1人あたり地方債現在高**  
過去からの起債抑制策により各平均値を大幅に下回っているが、今後は、役場庁舎、消防庁舎、学校施設等の耐震化事業の実施予定により一時的に増加する見込みである。このため、他事業における地方債の抑制等により各平均数値を上回ることがないように努める。

**ラスパイレス指数**  
事務の統廃合等により、職員の新規採用を控え、給与削減の実施とともに適正な昇給制度の運用等給与の適正化に努めたことにより、全国町村平均及び類似団体内平均数値を下回っている。今後も適正な給与水準の維持に努めるとともに各種手当等の見直しを行う等、より一層の給与制度の適正化に努める。

**人口1,000人あたり職員数**  
保育所等民生部門の外部施設が多く、その施設職員も多いため、類似団体平均値を上回っている。今後は、民生部門の組織のスリム化を目指し、定員管理の適正化を図る。また、職員の大量退職を迎えることを踏まえ、定員適正化計画に基づいた職員数の抑制に取組み、5年間で現在の職員数より7% (約20人) の削減を目指す。

### 定員管理の適正度

